お取引様　各位

お客様アンケートご報告

拝啓　貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。毎々格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、この度はご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にお応えいただき、ありがとうございます。

8月分アンケート調査の結果について集計致しましたので、いただきましたご意見の一部をご紹介致します。

ご意見①

「蚊、クモ、ムカデ、アリなどの対策があれば教えてほしいです。」

今時期頃はこういったご意見・ご質問いただく機会が多くなってきます。
アリやムカデなどの侵入害虫に対する対策として、粉剤があります。こちらを建物外周に撒くことで侵入しようとする害虫に効果を発揮します。

蚊は飛来してきてちょっとした窓やドアの開閉（自動ドア等も）で紛れて侵入する場合もあります。弊社では、ムシポン（捕虫器）などや防虫シート、防虫カーテン等を取り扱っていますので、状況に応じてご提案させていただければと考えております。
まずはお気軽にご相談くださいませ。

ご意見②

「なるべく担当者（当日作業員）の変更がない事を希望します。」

申し訳ありません。
弊社は施工に関して現状は担当制を取っておりません。

しかし、弊社の施工は委託した業者やアルバイトは雇わず、技術・対応に関して研修を重ねた正規スタッフで行っております。

今後より密な情報の共有を行い円滑な作業に心掛けていきますので、よろしくお願いします。

ご意見③

「細かい状況や注意しなければいけない点など教えていただけると助かります。」

承知致しました。
弊社では施工後のご説明や報告書にて改善提案をさせていただいております。ゴキブリ駆除はただ薬剤を処置すれば良いわけではありません。

例えば厨房等の什器下にゴミが溜りやすい環境ですと、ゴキブリはゴミを巣や餌にし、弊社のコーキング剤の効果が十分に発揮できません。

発見したゴミは徹底的に掻き出した上で、お客様にご報告させていただいております。ぜひゴキブリが発生しづらい衛生的に良好な環境をお客様と築いていければと考えております。今後よりお客様にお伝えさせていただきますので、よろしくお願い致します。

一部でございますが以上の様なご意見・ご指摘をいただきました。いただいたご意見・ご指摘は全て真摯に受け止め改善してまいります。

どうぞこれからも、忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

また引き続き、皆様からいただいたご意見等をご紹介してまいりますので、重ねてよろしくお願い致します。

敬具

昨年２月よりアンケート調査を毎月行っております。
引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイアルを設置しておりますので、こちらもご利用くださいませ。

お客様アンケート
お問い合わせ専門FAXフリーダイヤル

見ないムシ
0120-32-3164

※一都八県以外はご利用出来ません。
（東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡）

FCC News

2014年09月号　No.0125

Index

お客様アンケートご報告
社長コラム＆社員コラム
季節のムシ暦(81)
フードセーフティジャパン2014ご案内
生活の豆知識

株式会社ＦＣＣ
〒251-0043
神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32
Tel　0466-31-3164
Fax　0466-31-3174
URL　http://www.fccsystem.co.jp
E-mail　info@fccsystem.co.jp

社長コラム

湘南ではたらく小さな会社の社長のblogより

何とか間に合いそうです。

グループホームの話しです。「るるはうす」と言います。

昨年夏過ぎに横浜市に設置意向調査票を提示して、秋のヒアリングを経て、今年の３月に内示を頂きました。それから物件探しです。偏見の影響でなかなか見つかりません。

運よく見つかりました。契約をする前に町内会（自治会）へお話しです。設置後に近隣から受け入れて頂くためです。
で、物件契約。ここで一安心…　のつもりがぜんぜんです。

世話人の募集は？　あっ!これからです。すぐに気合で募集。
運よくとても良い方が４人集まりましたよ♪

消防設備の工事が必要だと!素人の私は、そんなことも知りませんでした。運よく同友会の知り合いにお願い出来ました。
まず消防署へ事前説明、着工届け、工事段取り…

間に合うのか…

運よく他の居住者へもコンタクトが取れました。
防火対象物使用開始届提出。
んん、用途変更？？　知らない。

建築局審査課へ。１００㎡以下であれば申請不要との事。
５人定員の予定でしたが、今回のホームは部屋の空きの問題で、４人定員になってました。
ツイてる。９９．３７㎡。

障害企画課へ指定申請提出、障害支援課へ設置協議書提出、間に合いました。福祉の町づくり事前協議書を建築環境課へ持っていきます。
認知症対象者がいなければ不要との事。
先に言ってよ。

利用者の規約作り、契約書と重要事項説明書、世話人と利用者のオリエンテーション、家具の購入…
やり抜きました。。

来週開所。なんとか間に合いそうです。あとは消防検査と補助金交付申請を残すだけです。

設置までのノウハウは身に付きました。
茶トル、Ｉ黒さん、SMちゃん（SMになってしまった。）で体制は作りました。
今度は運営です。成功ノウハウを意地でも作ります。

それで今後も更にグループホーム運営に乗り出します。
何故か？？？

今回は、るる湘南のスタッフ（利用者）の為でした。グループホーム入居の希望者がいても県内に全く空きがない状態でした。で、ならば自分で作るしかない。

今回の開所に際して、一人公募（横浜市グループホームの場合の条件）しましたが、ちょっと声を掛けただけですぐに５人の応募。るる湘南の養護学校卒業生は２年待ってやっと入れたとの事です。それだけ不足しています。

確かにグループホームは、営利事業としては魅力はないです。試算をすると、上手く運営してなんとか収支が見合う程度だと思われます。

しかし、需要に応えるのが中小企業経営者の社会貢献です。
だから私はやります。色々言いたい奴は言えばいいです。
格好つけている様ですみません。
私は必ず心ある運営を実現します。
ズラズラ苦労話みたく書きましたが、これが開所までの準備です。

心ある経営者はグループホームも視野に入れてみて下さい。

パソコンからFCCブログをチェック!!

FCCニュースに掲載しているブログ記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。
気になった方は

ゴキブリ駆除　FCC　検索

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

FCC社員コラム

S係長の東奔西走日誌

個人宅

時期的な事もあり、個人宅の受注が増えています。

先に飲食店でご契約されているお客様のご自宅を施工する事も増えています。

飲食店で主に生息があるのは、チャバネゴキブリ。個人宅は主にクロゴキブリです。

施工方法は同じですが、生態は若干違います。
前者の主な生息箇所は屋内。後者は屋外になります。

室内が余程不衛生でない限りはクロゴキブリは、カナブンやカメムシ等と同様に外からの侵入になります。
お客様に説明する時は、この点に注意します。

FCCオリジナルコーキング剤は駆除効果が１年持続しますが速効性に欠けるので、偶発的な外からの侵入があるのでゴキブリを全く見なくなる事は難しいと伝えています。侵入があってもコーキング剤を食べて結果的にいなくなると説明しています。

もう一点は市販の駆除剤との違いです。ほとんどのお客様がご自宅に駆除剤を置いています。市販の駆除剤は中身の誘引物質を加熱処理しています。そうしないと市販の許可がおりないからです。

弊社のオリジナルコーキング剤は、業務用である故に誘引物質は生のままで、より強い誘引効果でゴキブリを引き付けます。

後は薬剤の効果は１年ですので、その後は効果がなくなってしまいます。
１年後は薬剤の塗り替えの必要性を説明しています。

季 節 の ム シ 暦 ㊶

株式会社FCC 顧問 医学博士･農学博士　林　晃史

見直したい動物由来のペスト

時は夏、虫達も元気で活動しているのは良いのだが、気になるのは例年発生する食中毒や虫刺咬症の事である。

少し前に「ダニ問題」の３０年周期説を紹介したが、今から約４０年前に登場した「感染症」が飛び出して来て、世界を驚かせている。

２０世紀は感染症の制圧の時代だと思っていたが、今回の「エボラ出血熱」の“緊急事態”宣言には実に驚いた。また人類の敵は、動物由来のウイルス性疾患であることをまざまざと実感させられた。

また、これに比すべき程の怖さではないが、静岡市の「冷やしキュウリ」による食中毒も、生活の場では考えさせられる事例である。

これは腸管出血性大腸菌Ｏ－１５７によるものだが、今回は「野菜漬物によるＯ－１５７中毒」の今日までの過去１０年の最多例、北海道の「白菜の浅漬」中毒の発症者１６９名（８名死亡）をはるかに超す４４９名という異常な事態となった。

なおこのＯ－１５７による食中毒だが、世界に最初に登場したのは１９８２年２月アメリカのオレゴン州ファストフードのビーフハンバーガーでの事例である。これは今から３２年前の事である。

またわが国では、１９９０年９月埼玉県の幼稚園で２６８名が発症し、２名死亡の歴史がある。今から２４年前の事で、原因は未殺菌の井戸水であったという。

この「エボラ出血熱」と「Ｏ－１５７」の両者に共通する所は、元になる病原体保有者が動物である事だ。

前者は「コウモリ」だと言われ、また後者は牛、羊などの家畜の腸内に居るという。従って、排泄物を介して汚染する。

これは元を糺（タダ）すと、どうも動物由来の病気と言えそうだ。だが、近代化が進み、自然との触れ合いが少なくなると、このような原点を忘れがちである。

このような病気とは少し違うが、もう一つ動物由来のものに皮膚傷害がある。これはこの先、寝苦しい熱帯夜などが続くと被害が増える「虫刺咬症」と称するものである。

この刺したり咬んだりする原因虫は、多くがハチ、アリ、ダニの類である。このうちハチやアリは別として、生活の場でしばしば問題を起こすのは「ダニ類」である。

なお、生活の場で最初に問題になったのはイエダニであった。このダニは人の生活圏で活動する小動物の「ネズミ」に寄生して生活するものである。

これがネズミから脱落したり、巣からはい出たものが人を襲うのだ。この悪ダニは人の眼に見えにくく、姿なき皮膚炎虫として人を不安がされた。

自然界で人を取り巻く動物群には、人に利益をもたらす種類も多いが、逆に被害をもたらすものも少なくない。

今日の便利で快適な生活環境は作られた状況であって、何かちょっとしたことでバランスが崩れやすく、予期しなかった異常現象をもたらし易い。

今、動物由来の健康被害が目立つのはこの現われの一つである。この多くは人が自然から遠ざかり、周辺の動物を知る機会のないままに、遭遇した悲劇と言える。

生活環境の都市型化は、生活のスピード感を増し、人に自然を知る場と機会をなくし、警戒心を稀薄にさせてしまった。

また大量生産、大量消費は、簡単で迅速に重きを置くことになり、緻密さを欠くことになって、安全が欠落してしまった。

こんな事が最近起こっている現象の背景にあると考えられている。

今日多くの人は、日常生活の場で「ネズミ」を見る機会が減り、その問題性を忘れかけている。

これは危険なことで、この度の「エボラ出血熱」を教訓として身近な小動物について、認識を新たにする必要がある。

今回は「伝染病予防法」の時代に立ち返り、身近な小動物の「ネズミ」を眺めてみたい。

ネズミには、詳細については別にして、家住性のものと野外活動性のものがある。またネズミ達は、大体が身体にノミ、ダニ、寄生虫を抱えている。

こんなネズミが伝播する主要な病気には、過去からの記載によると、「そ咬症」を始めとして、ワイル病、泉熱、腸チフス、パラチフス、ペスト、食中毒、発疹熱、恙虫病、流行性出血熱、日本住血吸虫病、広東住血線虫病、じよう虫、回虫などと多様にわたる。ネズミは人への「リスク」の塊だ。

これらが人の皮膚、飲食物、呼吸を通じて取り込まれることが知られている。

今日も、最も身近な問題点はダニの被害と食中毒である。

イエダニによる被害は、今でも相談が続いているが、食中毒では平成１１年頃よりも減ったものの、サルモネラ食中毒が心配されている。

なお、サルモネラ食中毒とネズミの関係は、昭和３３年に大阪市内の食中毒事故で明確にされている。

ネズミの重要性は、一般的衛生管理要件の中でも「そ族昆虫」の頃で明確にされている。

動物由来の病気の予防の基本は“手洗い”である。食中毒の季節がやって来た。動物を知り、手洗いの徹底を！！

【写真説明】

ザ・ネズミ、これが病原体の総合商社だ！！
“そ族昆虫”の駆除は欠かせない。

「食の安全・安心」のために
工程別 テーマ別 の濃密ステージを実現します。

Solution 1	Solution 2	Solution 3
食品防御（フードディフェンス）	異物混入対策・防虫防鼠関連	衛生管理・受託検査

招待状送付のご案内

皆様方の御支援とご愛顧のおかげをもちまして、フードセーフティジャパン２０１４に出展させて頂く運びとなりました。つきましては本展示会の招待券をお送りさせて頂きます。

時節柄、ご多忙と存じますが、是非弊社の出展ブースへお立ち寄り下さいませ。弊社ブース位置は東２ホール【Ｊ－３４】になります。

社員一同、心よりご来場をお待ち申し上げております。

※注意事項※

- 同封しております特別招待状を会場にお持ちでない場合は、入場料2,000円が必要となりますので、ご注意下さい。
- 入場には一人1枚の招待券とお名刺が1枚必ず必要となります。
- 特別招待状の裏面にございます来場者登録欄は恐れ入りますが、全てご記入して頂いた上で会場にお持ち下さい。
- 同行される方がいらっしゃる場合は、通常の特別招待券を同封させて頂いておりますので、ご利用下さいませ。
- 会場周辺の駐車場が不足しておりますので、お車での来場は大変混雑が予想されます。りんかい線、ゆりかもめなどの公共交通機関をご利用下さいませ。

また、何かご不明な点等ございましたら、弊社まで何なりとお申し付け下さい。今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

■開催情報■

日程：2014年 9月17日(水)～19日(金)

時間：10：00～17：00

場所：東京ビッグサイト 東ホール

ブース位置：東２ホール【Ｊ－３４】

最寄り駅：りんかい線　国際展示場駅
　　ゆりかもめ　国際展示場正門前駅

最新情報：http://www.f-sys.info/

生活の豆知識

アリによる被害

私たちにとって身近な昆虫とも言えるアリ。しかし家の中で発生したアリは不快害虫となります。

アリは少数の女王アリと多数の働きアリによる集団生活を営む社会性昆虫です。その多くは地中に巣を作って生活しています。

食性は他の虫の死骸などを運んで食べる「肉食」ですが、アブラムシの尻から出る甘露や蜜、砂糖に集まる「草食」「菌食」「雑食」のアリもいます。

アリは現在日本に約150種いますが、私たちが「アリ」と聞いて思い浮かべるのはクロオオアリではないでしょうか。働きアリは体長10ミリ前後で黒色、アブラムシの幼虫の世話をしていることがありますが、それ以外の被害はそう大きくありません。

トビイロケアリはクロオオアリよりも身近に見られるアリです。体長2～3ミリ前後で黒褐色です。空地のようなところから植木鉢まであらゆる所にいます。キッチンの砂糖入れなどに群がる事もあり、人を不快な気分にさせますが、それ以上の被害は特にありません。

ヒメアリは、体長1.2ミリ程度で黄褐色です。高層マンションなど住宅内に侵入したり、飲食店等のあるビルなどでも大量発生したり、人を咬むなどの被害を多くもたらします。野外に巣を持ち、餌をとる時にだけ家内に侵入します。

イエヒメアリは体長2ミリ強で赤褐色、全世界に分布を拡大している熱帯原産の外来種で、特に問題です。甘露以外に人間の体液、血液などに好んで集るので、不快なだけでなく、医療施設の院内感染の可能性を考えましても、衛生的な問題もはらんでいます。

電気系統に営巣して故障の原因になるなどといった問題をも発生させていますので、周囲で見たら注意が必要です。土がなくても巣を作ることができる屋内性で、壁紙やタンスの裏などのちょっとした隙間に営巣し、次々と分巣します。

駆除方法ですが、巣の中にいるアリを駆除しなくては一向にいなくならないため、蟻道と呼ばれるアリの通り道にヒドラメチルノン系のベイト剤（毒餌剤）を施工し、アリにこのベイト剤を巣に持ち帰らせ、巣ごと壊滅させる根本駆除が有効な手段の一つとなります。

ヒドラメチルノンは有機フッ素化合物の一種で、昆虫のエネルギー代謝を阻害する作用を持ち、直接食毒した虫のみならず、その糞や遺骸を食べた虫をも殺虫します。

またアリの巣が、庭の土や腐った木などにあった場合は有機リン系の粉剤を散布し、直接巣を駆除する方法を同時に取り入れます。

ガラスを細かく砕いた様な形状をしていてムカデや昆虫類の節を傷つけて駆除する粉剤を使用する場合もございます。毒性は有りませんので、飲食店など客席に近い場所に適しています。

これらはアリが目移りしそうな食品はきちんと保管・処理するとより効果を発揮します。是非とも駆除のプロである私たちにご相談下さい。